

平成 29 年度 事業計画

1 基本方針

団塊の世代が65歳に到達し、労働市場からの退出したこと、加えて、少子化、核家族化が進む中、シルバー人材センターは、高齢者の多様な就業ニーズに応じ、地域社会の日常生活に密着した臨時的かつ短期的又は軽易な就業機会を確保・提供し、併せて高齢者の生きがいの充実、社会参加の促進により、地域社会の活性化の一役を期待されています。

また、定年の引き上げ、継続雇用制度の実施により、年金の支給開始年齢まで働き続けられる環境整備がされ就業意欲のある高齢者が65歳までの雇用が確保されるなど近年状況が大きく変化しております。

このような高齢化社会において、シルバー人材センター事業は、地域の高齢者が自ら培った豊富な知識・経験・技術を活かし、地域で元気に生き生きと活動できる場として必要不可欠な存在で、その役割は重要なものとなっており、より多くの高齢者が地域で活動できるよう、積極的に事業を推進していかねばならない。

何よりも重要なことは、センター自らが、現状を踏まえ、将来を見通して、それぞれ従来の事業運営、団体運営を総括し、発展、充実すべき課題を明らかにすることである。そして、課題を解決するための具体的な方策を立て、「自主・自立、共働・共助」の理念のもと、会員と役職員が一体となって実行していくことである。

そのために、会員及び発注者の皆様など関係各位のご支援、ご協力を賜りながら、効率的な事業の推進に努めてまいります。

2 重点事項

- (1) 会員の増強
- (2) 受注拡大と就業率向上
- (3) 自主・自立の組織づくり
- (4) 安全・適正就業の促進
- (5) 財政基盤の強化

3 実施計画

(1) 会員の増強

会員数は、シルバー人材センター事業を推進していく根幹をなすものであり会員の増強は不可欠であります。

- ① 会員による1人1会員入会の勧誘
- ② 町の広報「いちかい」に年2回会員募集を掲載
- ③ 退会会員の抑制（希望職種等の見直し）

(2) 受注拡大と就業率向上

団塊の世代やホワイトカラー層の仕事の調査・研究・開拓に努める。

- ① 会員による1人1仕事就業開拓
- ② 高齢者活用・現役世代雇用サポート事業による派遣就業の拡大
- ③ 職業紹介事業の拡大
- ④ 一般家庭等へのシルバー人材センター事業PRチラシの配布

(3) 自主・自立の組織づくり

全員参加の自主運営組織として職務班や理事会、各種委員会の機能強化等、組織の活性化に努めます。

- ① 理事会の活動強化
- ② リーダーを中心とした職群班活動（グループ就業）の確立
- ③ 理事（役員）会推薦による女性理事の登用
- ④ 会員互助会の活性化
- ⑤ 「シルバーの日」をはじめとしたボランティア活動の実施

(4) 安全就業の徹底

安全就業は、シルバー人材センター事業原点であります。

- ① 会員安全就業基準の周知徹底
- ② 安全研修会や技術講習会を通じた安全意識の高揚と啓発
- ③ 安全パトロールによる安全就業の確認
- ④ 健康管理研修、健康受診の勧奨

(5) 適正就業の推進

就業機会の公平化・適正化に努める

- ① 会員適正就業基準の周知と遵守
- ② ローテーション就業やワークシェアリングの推進

(6) 財政基盤の強化

安定した事業展開をするため財政基盤の確立を図ります。

- ① 事業運営の効率化による管理経費の節減
- ② 事務の省力化と経費節減を目指した調査・研究